

彦名通信

2021

3

COMMUNICATION MAGAZINE NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY (KOSEN), YONAGO COLLEGE

vol.203

ご卒業おめでとうございます



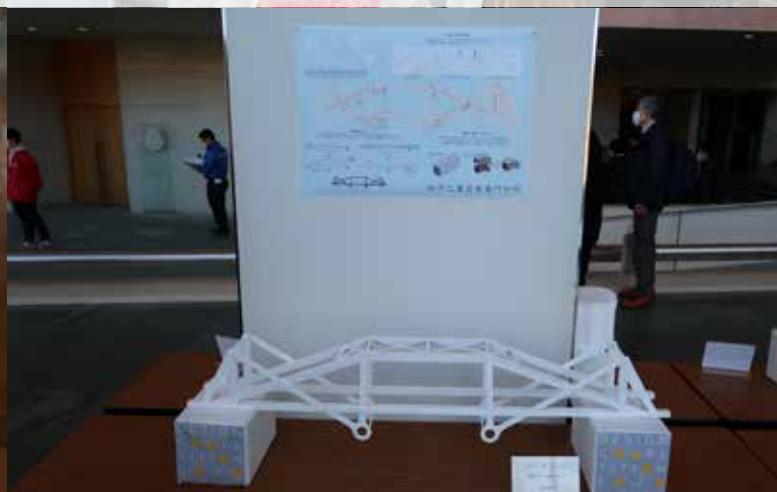
ロボコン(全国大会決勝戦進出)



デザコン(入賞グループ集合写真)



デザコン(空間デザイン部門 優秀賞)



デザコン(構造部門 最優秀賞)

Index

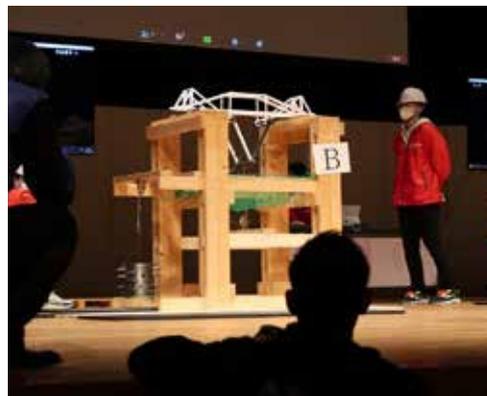
デザコン最優秀賞	2	5年建築学科	8	各種大会	22
ロボコン全国大会	3	としょぶらり	9~16	国際学会最優秀ポスター賞受賞	23
卒業・修了特集		専攻科2年	17	建築提案コンテスト奨励賞	23
5年機械工学科	4	求人・進路状況	18	水・土壌環境保全活動功労賞	23
5年電気情報工学科	5	資格試験合格者	19	留学生交流会	23
5年電子制御工学科	6	進路研究セミナー	20	卒業生は今(vol.24)	24
5年物質工学科	7	学生表彰・体育協会表彰	21		
		リケジョ報告	21		

1部門で最優秀賞を受賞!

構造デザイン部門 最優秀賞 「琥白鳥」

4A 島崎 満月

今年度はコロナの影響で7月からの対面授業が始まるまで実際に手を動かしての作業を行えませんでした。さらに大会が行われる仙台へは行けず、楽しみにしていた仙台牛タンは遠く消え去りました。指定材料が厚さ0.2mmの牛タンよりも薄いケント紙ということで0.2mm単位の寸法調整を行い、図面を作成しました。50kg持たせるためどう工夫すれば良いのか、先生や先輩、メンバー間で何度も話し合いを重ね製作を進めていきました。本番直前まで調整が続き、終わりの見えない橋製作、課題の締め切り、迫り来る後期中間テストと、怒涛の毎日でしたが、多くの人に助けられ結果無事に最優秀賞をいただくことができました。チーム戦のデザコンは技術だけではなく精神的にも得るものが多く、自分自身の成長に繋がったと感じています。



載荷競技

空間デザイン部門 優秀賞 「町を横断する遊び」

5A 田中 偉央利

現在はほとんど活用がされていない米子市を流れる加茂川にこどもの遊び場をつなぐ役割を持たせ、子どもたちが町の歴史や文化を学びながら遊ぶ場を提案しました。実際に米子まちなか観光案内所の方々にお話を伺ったり、地元の小学生を対象にワークショップを行ったりしました。地元の子どもたちや町の人たちの意見を取り入れた提案は他の作品にはなく、子どもから大人まで町を巻き込み建築をつくるというプロセスが評価されました。米子の人々が加茂川の抱える課題や魅力に目を向けるきっかけとなるような提案になったと思います。

はじめは一人で取り組んだ提案でしたが、大勢の方々の協力を得てこのような賞を獲得することが出来ました。ご協力いただいた方々にこの場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



子どもワークショップ風景

空間デザイン部門 入選 「Free Office」

4A 角田 元春

私たち4年グループは、「子どもの遊び場と大人の職場を一体化させたオフィス」を提案しました。今回、初めてデザコンに出たため、特にタイムスケジュールを管理することに苦戦し、当日に近づくほど睡眠時間を削って作業をする日が増えました。また、4人でのグループということもあり、初めはデザコンに対しての温度差が大きく話し合いもあまり進まず雰囲気が悪くなることもありました。しかし、お互い建築に対しては妥協することができない性格だったので最終的には良い作品ができたと思います。結果として入賞はできませんでしたが、著名な建築家の方々と自分たちの建築についてディスカッションできたことがとても光栄なことでした。自分たちはまだ4年生なので、来年こそは入賞を目指したいと思います。



打ち合わせ風景

高専ロボコン2020 全国大会 結果報告

ロボコンCチーム 全国大会で見事なパフォーマンス

電気情報工学科 本村 信一

米子高専ロボコンCチームは、昨年11月1日に行われた「全国高等専門学校ロボットコンテスト2020」の中国地区大会を最優秀賞で勝ち抜き、同月29日に行われた全国大会に出場しました。

地区大会終了後、史上最多100台のロボットのスケール感そのままに、さらなるパワーアップを図り、ハンドベルの連打にも対応できる性能へと進化を遂げました。また、演奏ロボット、指揮者ロボット、観客ロボットが一体となった独自の世界観を活かす「ロボコンサート」のテーマ設定にもこだわりました。

全国大会の予選では、観ている全ての人たちがハッピーになってもらえる演奏を目指し、装いも新たにクリスマスメドレーによるクリスマスコンサートを催した結果、全26校28チームの中からもわずか6チームしか進むことのできない決勝ラウンドへと駒を進めることができました。

決勝ラウンドでは、今回のロボコンに関わった全ての方々へ感謝の気持ちを伝えるべく、いきものがかりの「ありがとう」を鳴らしきり、オンライン上で応援して下さった多くの方々から高い評価や嬉しいコメントをいただきました。結果は6位でしたが、順位以上に観客のハートを掴むことができたのではないかと思います。

ロボコンCチーム イオンのイベント参加

技術教育支援センター 技術長 松本 充

全国大会では、決勝に残りながら賞なしの結果となり、学生、教職員とも非常に悔しい思いをしましたが、課題の『だれかをハッピーにする』ことに対しては、どのチームにも負けない内容であったと皆自負しておりました。そのような時、イオンのイベントに「ロボコンサート」出展のお話をいただき、学生の成果物を見ていただける良い機会と思い出展しました。

12月20日はイオン松江にて、全国大会で使用したクリスマスメドレーを演奏しました。クリスマス前ということもあり、親子連れを中心に約150組500人程の方にお越しいただきました。

1月9～11日はイオン日吉津での演奏でしたが、小学校低学年までがターゲットと予想できましたので、「アンパンマン」、「となりのトトロ」、「パプリカ」に加えて新しめの「紅蓮華」を選曲しました。当日は大雪による悪条件にも関わらず、延べ約300組1000名程の方にお越しいただきました。

両イベント共、年齢層はかなり低めですが、保護者の方に米子高専のPRもできました。来てくれた子供たちは終始笑顔で演奏を楽しんでもらえ『だれかをハッピーにする』ことができたと思います。全国大会では賞はいただけませんでしたが、子供たちからそれ以上のものをもらうことができ、自分たちもハッピーになるイベントとなりました。

コロナ禍でなければ学生も参加しハッピーになれたと思います、そこが唯一残念でした。

なお、ロボコンBチームも1月2～3日にイオン松江にて出展され、大盛況でした。



イオン日吉津にて



イオン松江にて



タッピーズ展示(イオン松江にて)



ロボコンサート風景



ロボット写真



学生写真

■ 5M 担任 矢 壁 正 樹

今年度は遠隔授業から始まり、各種大会や行事は中止となるなど変則的な学校生活で卒業生も今までに無い心身にわたる苦労があった事と思います。特に就職・進学においては、就職希望であった企業が採用を中止するに至った事、大学編入学試験日程が延期され、先々の見通しが立て難くなった事などにも関わらず、そのような状況下でも、変わらず真面目に学業に励んでくれた学生諸君には拍手喝采を送りたいと思います。しばらくは困難な状況が続くかもしれませんが、春からは心機一転して、それぞれの場所で、それぞれの目標に向かって頑張ってください。最後になりましたが、本校の教育に対して、ご理解とご協力を賜り、卒業生を支えてこられた保護者の方々に、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。



5M 佐々木 優 那

何故機械工学科に、とよく聞かれる高専生活でした。何となく、興味のあることが機械だったので選びましたが、入学当初は将来のことについて深く考えていませんでした。

高専は普通高校と違い5年間同じクラスで、女子が少なく、専門教科の課題が多い等、大変なこともたくさんありました。ですが普通ではない反面、多彩な経験を積むことができました。そんな中で自分のやりたいことが次第に明確になり、目標であった企業に内定をいただくことができました。高専で培った知識や経験を成長の糧にし、社会人になってからも何事にも挑戦していきたいです。そして願わくは、工学を志す女性ももっと増えてほしいです。

これまで支えてくださった先生方、家族、友達、先輩後輩の皆さん、ありがとうございました。あっという間だったと思える5年間を有意義に過ごせてとても良かったです。



5M 佐 波 呼 治 朗

思い返せばあっという間の五年間でした。みんなで卒業できることを嬉しく思います。

高専生活を通して身に着けたもの、それはやり遂げる力です。課題をこなし、部活動にも励む日々の中で苦しい時期もありました。しかし、周りのサポートのおかげで、すべて最後までやり遂げることができました。これからも諦めずに進んでいきたいと思っています。

両親や先生はもちろんのこと、クラスメイト、先輩、後輩など全ての人に支えられて卒業することができました。ありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

最後に、皆さんの新しいステージでの活躍を願っています。そして、自分自身も誰にも負けないように頑張ります。素晴らしい五年間をありがとうございました。



■ 5E担任 宮田 仁志

5年生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。今年度は4月から学校が始まらず、その後も遠隔授業、遠隔就活、遠隔試験…そして各種行事も中止か縮小。高専の最終学年にあたる皆さんにとって、とても大変な1年だったと思います。しかし、「禍福は糾える縄の如し」と言うように、人生には上手くいくときもあれば、つらい時期もあります。そして、どんなにつらい時期でも必ず終わる時が来ます。もしかすると、そのつらい時でさえも、それは自分を見つめるよい機会なのかもしれません。コロナ禍もいずれ終わります。高専での経験を糧として、目の前の出来事に一喜一憂することなく、人生を長い目で見てしっかりと自分の道を歩んでいってください。



5E 野口 明日美

5年前、入学したての頃は知らないところで知らない人達に囲まれて不安と緊張でいっぱいだったのを今でも覚えています。5年間の高専生活で部活動や学生会活動を通してたくさんの人と関わることができ、たくさんを経験をさせてもらいました。部活、学生会活動、バイト、勉強と学生の間でできることは全てやり尽くしたと思える5年間でした。当時すごく辛かったことも今では笑い話に出来るくらい成長しました。当たり前のように毎日一緒にいた友達と会えなくなるのも、めんどくさいと思っていた学校にもう行かなくていいことも、卒業を実感した途端に寂しくなります。私と関わってくれた全ての人に感謝の気持ちでいっぱいです。皆ありがとうございます！

5E 島崎 寛己

私は高専入学と同時に放送部に所属し、5年間活動してきました。活動はドラマ・映画制作の監督、撮影、編集と多くの工程にかかりました。顧問の田中晋先生のご指導をいただき、ドラマ制作の編集テクニックやカメラワークなどかなりコアな部分まで身についたと思います。また、部として多くの賞をいただいたことで、校外から部にお声がけいただく機会が増えました。例えば、米子市やNHKの制作する様々な番組への出演などですが、入部した当初は全く予想もしていなかった収穫もたくさんありました。その中でも、人との繋がりは特に大切であると感じました。皆さんもぜひ、課外活動を通して様々なことを経験してみてください。ありがとうございました。



■ 5D担任 河野清尊

5年生諸君、卒業おめでとう！！ 昨年の春以降、新型コロナウイルスの感染拡大で、就職・進学戦線が対面からオンラインに切り替わり、採用活動を途中で打ち切る企業が出たり、活動時期が後ろにずれ込んだりと、手探りでの対応となりました。しかし、約800社からの求人とみんなの熱意で、それぞれが進路を決めることができました。よく頑張りました！

最後に復習をしよう。年間100万円貯め、3年間はやめず、自分の健康は自分で守り、親より自分を優先し、子どもは未来からの預かりもの・向上心と利他の心・継続は力なり・照干一隅を忘れず、逞しい楽観主義で、天寿を全うし、青春とは心の若さであることを忘れず良き人生を歩んでください。



5D 陶山 一宇

本校での5年間は学業や課外活動のひとつひとつが学びの場であり、そのどれもが次の学びへと続く貴重な経験であったと思います。特に学業は、今まで学んできた専門知識が卒業研究等の専門分野での活動に役立つのみならず、新しく自分で別分野を学ぶ際にも、低学年での教養知識が足掛かりや基礎知識として、高学年での専門知識が多角的に学ぶ際の1つの視点として役立っており、これは高専で5年間学んできたからこそ得られたものであると感じています。

卒業後は本校専攻科に進学するため、より深い専門性と広い教養を得て、社会に役立つ人材として学んだ技術を活かしていけるよう、更なる研鑽を積んでいきたいです。5年間ありがとうございました。



5D 植木 佑哉

私は入学以来5年間放送部に所属して、主にラジオ番組を制作しました。3年生までの高校生の大会では、3年連続で全国大会に作品を出品することができました。放送部の活動を通して、たくさんのことを学ぶことができました。特に1年間務めた部長では、大人数の部員をまとめることの大変さを知ることができました。

入学当初は長いと思っていた高専生活でしたが、たくさんの友人ができ、かけがえのない5年間になりました。今後は社会人として高専で学んだ知識を生かして社会に貢献できるよう頑張っていきたいと思っています。5年間お世話になりました。ありがとうございました。



■ 5C担任 小川和郎

みなさん、卒業おめでとうございます。思い返せば、大きな白衣に身を包み、慣れない手つきで実験を始めたのが5年前。今では1人で大型機器も使いこなし、後輩や中学生に原理や使い方を説明するほどにも成長しましたね。集大成の1年はコロナの影響で、ほとんどの行事が様変わりする中、工夫を凝らして運動会を実施するなど、みなさんの成長には驚かされるばかりです。4月からそれぞれの新生活が始まりますが、この5年間で培った経験を活かし、失敗を恐れずにチャレンジして欲しい。もし、壁にぶつかって悩むことがあれば、高専時代の友達を頼って下さい。この5年間で一緒に学んだ友達は、いつでも温かく迎えてくれると思います。皆に幸あれ。

5C 原 望 実
高専生活を振り返って

私は15歳で地元を離れ、寮生活をしながら高専に通い始めました。初めは知り合いもおらず、一人で生活できるのか、高専の勉強についていけるのか不安でした。しかし、そんな不安は一瞬で吹き飛びました。個性豊かなクラスメイトや部活の先輩・後輩、家族のような寮の友達、親身になって関わってくださる先生方のおかげで最高の高専生活を送ることができました。最後にクラスメイトとやった大運動会は一生忘れません。そして家族よりも長い時間を過ごし、共に支えあって成長した寮の友達には感謝の気持ちでいっぱいです。私は高専にきて正解だったと思います。一生の中でとても濃く、大事な5年間を過ごしたと思います。本当にありがとうございました。

5C 山田 吏 吉
5年間を振り返って

入学してから早5年、いろんな人に出会いました。いろんなところに行きました。いろんなものを食べました。いろんな思い出が出来ました。数々の素晴らしい思い出はここでは語り尽くすことは出来ないほど、とても内容の濃い5年間でした。16歳で親元を離れ不安と期待に胸を膨らませていた入学式が昨日の日のように思い出される中、いつの間にか5年生になり気づけば卒業…高専生活でやり残したことはたくさんありますが、それ以上に最高の仲間たちと一緒に過ごした5年間はとてかけがえのないものになりました。この貴重な経験と5年間支えてくれた家族、友人、先生方への感謝の気持ちを忘れずに春から新たな場所で頑張りたいと思います。



■ 5A担任 玉井 孝幸

令和2年度の卒業生諸君、卒業おめでとう。

今年度は、年度当初から新型コロナウイルスの関係で、休校そして遠隔授業で始まりました。その後も、学校行事、カリキュラムの変更で、十分な卒業研究・設計の時間がとれない状況下でした。そのため、夏休み前の中間発表会、明けのポスターセッションを1ヶ月遅れの日程となり、それでも最後の発表の日程は変わらない中、全員で発表会を迎え、終えたことは、担任としてとして一指導教員としてほっとした瞬間でした。こんな状況下でも工夫して、最大限の成果を上げた学年はある意味なかったと思います。

逆境をバネに、自信を持って、これからの社会人としてのスタートを切ってほしいと思います。



5A 兼 本 星 空

長いようで短い5年間でした。特に最後の2年間はあっという間に終わってしまいました。楽しいことも、地獄のテスト期間も、課題の追い込みも、みんながいたから色々なことを乗り越えてこられたと思います。個性豊かで優しいみんなと過ごす日々はとても楽しく、充実した毎日でした。卒業後の進路は様々ですが、コロナウイルスが収まり、またみんなで集まれるようになったら、同窓会開きましよう。その時までみんな元気でいてください！5年間ありがとうございました！

後輩の皆さんも色々な制限の中ではありますが、悔いのないよう学生生活を楽しんでください。

最後になりますが5年間お世話になった先生方、本当にありがとうございました。

5A 内 部 航 也

5年建築学科の皆、最高の5年間をありがとうございました。1年生の頃の静まり返っていた教室が、今では信じられないくらい賑やかになりました。皆で作上げた絆を忘れることがないように、これから先の人生を歩んでいこうと思います。設計製図がなかなか終わらず夜遅くまで学校に残り作業をすることが多々ありました。ストレスが溜まり病みそうでしたが、今思えば、社会に出たら体験できない貴重な時間だったように感じます。1～4年生の皆さん、これから先、受験や就活、卒研と色々大変なことがあると思いますが、この大切な時間を楽しみながら過ごして下さい。辛いことも、楽しむことができれば必ずやり遂げることができると私は思います。





ISSN 1344 - 5634

米子高専図書館報
第110号令和3年3月4日 発行
米子工業高等専門学校図書館

図書館報「としょぶらり」について

図書館長 川邊 博

「としょぶらり」は学生の図書館の利用促進を目的として年2回の発行で号を重ねてまいりました。これまでは教室で学生に直接配布されてきましたが、この110号からは彦名通信と合併して、保護者のみなさまにお届けすることになりました。図書館の様子をお知らせすることで、彦名通信とは違った角度からの学校の様子をお伝えし、学生さんと本のお話を共有し図書館に関心を持っていただく機会になればと思っております。

図書館における近年の課題は図書の出借冊数の減少であり、これまで読書に向けられていた時間がスマホに取られていることは、想像に難くはありません。書籍の文章は、その著者が最も適切な表現を選ぶ推敲を通してエネルギーを注ぎ込んだ結晶で、行間をも

読み込む作品といえるでしょう。今回の記事の中にも、映像の情報と活字の情報の比較がありますように、本の活字からの読み取りには、印象のインパクトとは違った、より深い繊細なものがあるようです。ニュアンスを含めていかに正確に情報や思いを伝え、読み取るか、これには、このように紡がれた活字の文章に多く触れ、人の心に届く文章を書いてみることで、多感な学生時代こそ、その読み取りの感度を上げておく好機です。定期試験では測れないこの能力が、「技術を活かす方向性」を幅広く豊かなものにする、これから見直される価値だと思います。そして、同じものをつくるだけでなく、他よりセンスの光るものを創り出していける時代に向けて、磨くべき能力につながります。

今回の記事では、図書や図書館活動で活躍する学生に語ってもらうことで高専生のセンスをお伝えできたらと思います。

「高専生が選ぶ 18 冊 2020」—国語科による読書推進事例の紹介—

教養教育科 渡邊 健

今年はコロナ禍により、1年生は入学式も出来ないまま6月末まで自宅待機を余儀なくされました。国語科では、ステイホームの期間が少しでも有意義なものになるよう、自分で選んだ本を読み「読書カード」を書くことを自習課題に加えました。その結果、質の良いブックレビューが多数集まったので、特に優れたものを18選り、美術同好会に「高専生が選ぶ18冊 2020」としてPOP作成を依頼しました。美術同好会の皆さんが素敵なPOPを作成してくれ、高専祭(10/29、30)の2日間、図書館交流スペース内にPOPと本を並べて展示しました。(写真右)

企画が好評だったので、高専祭後もPOPの展示期間が延長になりましたが、並べた本がしばしば「貸出中」になっていました。また、図書館長の話では、高知高専の先生がリベラルアーツ教育研究会で本校を訪れた際、このPOP展示を見て評価されていたそうです。学生による良書推薦の仕組みとして、今後も機会があればこうした企画を実施したいと考えています。



最優秀賞

ブリッタ・テッケントラップ「かべのむこうになにがある？」を読んで

建築学科1年 阿形 遼子

私はこの本を目にした時、何故か不思議な気持ちになった。謎々みたいな言葉のタイトルに心が奪われたのだ。質問形式の表題はあまり見たことがないなあと感じたが、なぜか本当に壁の向こうに何があるのだろうとしばらく考え込んでしまった。

自分である程度予想しながら、恐る恐る本を手にとって、ページをめくってみた。登場するのは動物のみなのだが、若い小動物のねずみと大型の年を重ねたねこ、くま、きつね、ライオン、そして未来に誘う青い鳥だった。同じ場所で生きるねずみがそれぞれ、ねこ、くま、きつね、ライオンに壁の外の世界について尋ねても、きちんとした答えはなかった。それでも決してねずみは諦めず、外の世界を知りたいと願う。青い鳥だけがねずみの希望を聞き入れて、実際に壁の外に連れて行き、壁の姿は自分たちが作った全くの虚像だと知るのだ。

この物語を一回読み終えた時、しばらく頭が整理できなかつた。いったい、何が起こったのだろうか。もう一回読み返しても、ライオンの行動が理解できなかつた。動物達に立ちはだかる壁はいつからなのか、どうしてなのか、誰も知らない。そして、大きな壁は何故赤色なのだろうか。登場する動物達の中で、こわがりのねこは壁が自分達を守ってくれる絶対的な存在と勘違いし、年配のくまは壁が作られた目的を当たり前として不思議だと考えない。次に、お調子者のきつねは思考することを嫌って、現状維持が一番と考える。特に、最後まで、幻の壁を取り払うことが出来なかつたライオンの姿が頭から離れなかつた。年配でかつ、人生が残り少ないことに悲観し、諦めの境地に達していたのだ。ストーリーの全てが謎だらけで、私の頭の中はメリーゴーランドのようにぐるぐる回転するのだった。

少し時間を置いて、めい想の中で私が整理でき

たことは、実は人間の世界にも同じことが言えるのではないかという置換法だった。小さくて、若いねずみは人間の若者、その他の年老いた動物達は経験だけが増えていき、現状から脱却できない人間の年配者達、そして鳥は新しい風を吹きこんでくれる本ではないか。前向きで、心が豊かな若者はいつも刺激を求め、年配者は今に満足して変わろうとしないという傾向が強い。ただ、単なるイメージで若者や年配者のことを言っているかもしれない、すべてが当てはまるとは言えない。その上で、私の現状はどうだろう。そして、今後どんな大人になっていくのだろう。一抹の不安がよぎった。

私について言えば、この壁は一体何だろうか。早速、壁の一般的な意味について、国語辞典で調べてみた。この本での壁は㊦妨げ、㊧行き詰まりと書かれていた。わかりやすく言えば、㊦邪魔になること、㊧この先、どうしたらよいか、わからなくなることの意味らしい。自分の壁は何だろう。㊦勉強、㊧学校生活、㊨友達関係になるだろう。㊦については、先生方や寮の先輩方、そして家族から最大限のサポートがあり、㊧と㊨は自分らしさを全面的に打ち出して頑張っている。特に、学校生活は今年の六月より、親元を離れて寮生活を行っている。その壁を克服して、新しい自分に挑戦できている今がある。素直に嬉しいし、少しずつ前に進んでいきたい。

現在、大人になるという実感はまだないが、この本からわかったことはいつでも、どこでも素直な気持ちで、前向きに学ぼうとする姿が大切だということである。今後嬉しいことだけでなく、辛い経験もするかもしれない。自分が立ち直るきっかけやいち早く修正するためには、登場した鳥のような存在、私にとっては大切な本から教えてもらうこと、そして周りの家族や友達にしっかり支えてもらって、自分らしく素直に、そしてしなやかに強く生きていきたい。

優秀賞

東野圭吾「人魚の眠る家」を読んで

建築学科1年 藤江 桜良

私は「人魚の眠る家」という本を読みました。私が中学三年生の時の人権集会でこの本の映画化された作品を全校で見ました。脳死についての考えや登場人物それぞれの立場に立って考え、命の重さや大切さを思い知らされました。また、脳死についての考え方、人の生と死についての様々な考え方があることを知り、深く考えさせられる作品でした。だから、映画だけではなく、本でこの作品に触れたい、脳死について、命、生きていることについて考えたいと思い、この一冊を選びました。

この本はある日突然、瑞穂という女の子が水の事故で脳死の可能性が高いと医師に言われます。一度は脳死、臓器移植を受け入れようとした両親が瑞穂のかすかな反応に娘は生きていると感じ、生きている娘の心臓は止められないと思なおし、色々な形で娘の生にかかわり、向き合っていく話です。瑞穂は脳死状態に近いと言われてから、三年と数ヶ月生きました。瑞穂の生きる力にも感動しつつ、死とは人がどうなった時のことを言うのだろうかとずっと考えているうち、読み終えていた感じです。瑞穂の家族や周りの人達の様々な考えを通して、私自身、共感したり、迷いを感じたりしました。そして、瑞穂の生きる姿からは生きることの大切さとどんなかたちでも瑞穂は生きている、生きていて欲しいという瑞穂を思う温かな家族の愛情が感じられました。瑞穂が三年数ヶ月、眠っているだけに見えるほど穏やかに、そして、現代医学では説明ができないほど驚異的な状態で過ごすことができたのは、その愛の賜物ではなかったのかとも思います。

私がこの本を読んで、最も印象に残った場面は母が瑞穂の胸に包丁を突き刺そうとし、「もし私がこの子の胸に包丁を刺し、それで心臓が止まったなら、娘の死を招いたのは私だと？」と警察に問いかけたところです。近い存在の家族でさえ、瑞穂はすでに死んでいると思っているのではと感じた母の必死の行動でした。母は今いる瑞穂が生きている人間であることをはっきりとさせたかったと思います。日本では、脳死と判断された

場合、その人は死んだとされるそうです。周りには瑞穂は死んでいると言う人も多いです。私も瑞穂の生に疑問を投げかける周囲の考え方になるほどそうかと思うこと、心揺らぐことも多々ありました。だが、私は瑞穂の母、薫子の考え方に賛成です。意識がなく、意志疎通もできない。生命維持装置の力でただ生かされている命、それを本当に生きていると言えるのかとの考え方もあるかもしれません。それでも、大切な娘の脳死を受け止められず、生命維持装置の力を借りたとしても、心臓が動き、身長が伸びたりする。そこに生を感じるのは当然のことです。やはりそれは大切なかけがえのない一つの命に違いないと思うからです。それを脳死判定することで、全て死としてしまうことが正しいという考え方には私はなりません。

そして、もう一つ、母が瑞穂の死を受け入れた時、読みながら、涙が出てきました。朝方、母の心に話しかけてきた瑞穂、「ママありがとう。今までありがとう。幸せだったよ。とても幸せだった。ありがとう。本当にありがとう。さよなら、ママ。元気でね。」自分の選択は正しいと思いながらも、何度か立ち止まり、答えを探していた母にとって、自分の選択を幸せだったと言ってもらえたこと、そして、別れも伝えてもらえたことで、素直に娘の死を受け止めることができたと思います。医学的な判断ではなく、娘自身の気持ちを聞くことが出来たことは大きかったと思います。

今、積極的な延命措置を希望するかどうかの選択の問題も聞きます。いつ、どんな状況で自分の死が訪れるかわかりません。そして家族の死、または大切な家族の最後の選択に自分が係わることになるかもしれません。立場が変われば、考え方も変わってきます。自分の死だったら、延命措置を望まないし、臓器を提供してもよいと考えます。でも、それが大切な人の生と死であれば、できるだけ長く生きていて欲しい。自分の選択で死を早めたくないと考えます。どの選択が良いとか、幸せとかはないのだと改めて感じました。どんなかたちであっても、その人に寄り添う心が大切だと思いました。そして、遠い先のこともかもしれませんが、どのような最期を迎えたことで自分の命の終わりとするのかを明確にしておくことが重要であると感じました。大切な人が大切な人の死と向き合い悩み続けないうために。

校内読書感想文コンクール結果

校内読書感想文コンクール 応募作品数：151編

賞	学年・学科	氏名	作品名
最優秀賞	1A	阿形 遼子	ブリッタ・テッケントラップ「かべのむこうになにがある？」を読んで
優秀賞	1A	藤江 桜良	東野圭吾「人魚の眠る家」を読んで
佳作	1M	中川 桃子	上田早夕里「破滅の王」を読んで
佳作	1E	野田 柚月	太宰治『人間失格』を読んで
佳作	1D	内藤 佑弦	ブレイディみかこ『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』を読んで
佳作	1C	門永 海星	「自分の壁」を読んで



読書感想文入賞者に読書についてたずねた

■読書感想文の入賞、おめでとうございます。はじめに、入賞作品について語ってもらいます。阿形さんが読んだ、ブリッタ・テッケントラップ「かべのむこうになにがある？」はどんな本ですか。

Ⓐ：いろんな動物が出てきて、壁に対する考え方が違い、それでも困難を乗り越え、それぞれが壁を越えていきます。最後にライオンだけが恐怖心で取り残されてしまうが、みんなの助言があって乗り越えられるという話です。30ページくらいの絵本ですが、何百ページもある小説よりも作者の考えが端的にまとめられてギュッと詰まっていました。文章は少ないけど、絵から伝わってくるものがあります。

■「壁の向こう」というタイトルは確かに好奇心を掻き立てられます。読み始めるとき、この話(本)の何に惹かれましたか。

Ⓐ：タイトルそのまま壁の向こうを知りたくて読んでみました。最終的にどういう答えが出るのかなと。絵

本は結構読みます。小説も読みますが。絵本は小さい子も読むけど、大きくなってから読んでも違った捉え方ができるのがいいです。絵があると想像しやすく、見ていて楽しいのも魅力です。

■小さい頃の絵本の読書体験を今も活かして読書を楽しんでいるわけですね。ところで、藤江さんはどんな本をよく読みますか。

Ⓔ：絵本も好きです。私は感動したくて本を読みます。

■藤江さんは、東野圭吾「人魚の眠る家」での感想文でした。命をテーマにした話ですが、タイトルからの印象はどうでしたか。

Ⓔ：最初は恋愛物語かと思いました。最初に中学校のとき映画で観たのですが、自分たちより先に観たクラスの人が「怖かったけど、めっちゃ感動した」と言っていました。

■映画やテレビ番組など、原作の読書によって、印象や作品の見方は変化しますか。

⑤：本の方が感情の変化とかを微妙に味わうことができるので、同じ物語なのに、違う感情を読み取ることができたりして、映画で観たときよりはよくわかりました。映画だと、俳優の涙と一緒に泣いたりして俳優の印象や演技に流されてしまうところがある。しかし、原作をあらためて読むと、自分自身が素直に考えさせられたり、自然と涙が流れたりして映画以上にいろいろなことを考えられると思います。映画と原作はどっちがいいとかではなく、どちらもいいところはあります。



■映画での表現と小説での表現を立体的に味わうような感じですね。本を選ぶとき「この本を読みたい」となるきっかけは、どういう場合が多いでしょうか。

⑥：友達が勧めてくれた本。「この本はこういうのだよ」といわれて、いいなと思った本を読みます。また、表紙やタイトルを見ていいなと思ったもの、あらすじも参考にします。実話をもとにした小説を選ぶことが多いです。ドラマで見たものを本屋で探すことはありません。

⑦：本屋さんに行ってみみんなの評価が高い本を読みます。そうすると、だいたい外すことはありません。好きな作家だったら、片っ端から読んでしまいます。

■相当に読書が好きなのですね。

⑧：中学校の時は割と、借りては返し、借りては返ししました。クラスの貸出ランキングでは上位でした。

⑨：私も全校で張りだされて「またおるわ」と言われていました。

■今回の本を読んでみてどうでしたか。受けた影響とか。

⑩：まわりの存在は大切だな、と。支えてもらったということですが、あらためて、こんな短い絵本の中で感じさせられました。

⑪：生きるということは愛によることだということと、お母さんが子供を思っている行動に「母の愛」を強く感じました。

■あなたにとって読書の魅力とは何でしょうか。

⑫：ジョセフ・マーフィーの名言で「読書の時間を大切にせよ。1冊の本との出会いがあなたの生き方を変えてくれることだってあるのだから」というのがあります。もし、生きることに疲れるときがあってそんなときに、どんな困難があってもどうにかして乗り越えていく人を描いた本に出会うとどうなるかと想像しま

す。自分は一人じゃない、みんながいるという気持ちになるのではないかと思います。本は、筆者が文章を通して読み手に伝えたいことが詰まっている魔法のようなものだと思います。本を読むことで、人としての感性を高め、自分が自分らしく生きていける第一歩につながるを感じます。

⑬：主人公の立場になって、自分も経験した気持ちになったり、時には周りの人の気持ちになったり、いろいろな立場になりながら、様々な感動がもらえます。これが自分の頑張る力になり、自分もこんな風な経験をしたいなと思えるところが魅力です。本は、自分とは違う経験をしてきた人の話や、自分とは違う考え方がたくさん書かれているので、知識が広がり多くのことを学べます。

■どうもありがとうございました。

(■聞き手：川邊)

■おすすめの本は

⑭：パラリンピック陸上選手の本。障がいがある自分を受け入れられなかった筆者が、周囲の支えによって「障害者」の壁を越えてパラリンピック銅メダルを獲得するという話。自分自身も中学時代に大けがをしたとき、先生や家族、友人の支えで乗り越えて陸上競技に復帰できたという体験があったので共感できました。

⑮：湊かなえさんの「告白」という本です。もともと映画化されていましたが、本を読んでから映画化されていたと知り、映画でも観ました。あと同じ作家の「贖罪」「豆の上で眠る」もいいです。終わり方がたまらなくて、湊かなえさんの本は全冊読みました。他に山田悠介さんの「スイッチを押すとき」もおススメです。

図書委員に「鬼滅の刃」についてたずねた

■「鬼滅の刃」は映画開封から間もなくニュースでも取り上げられ、空前の大ヒットです。ここでは、若者のみなさんの心を捉えた要素を考えてみたいと思います。映画は観ましたか。

-(学生図書委員5人中3人が)観ました。

-(2人は)漫画は見たけど。

■どうでしたか。

-まあ、面白いといえば面白い。また観たいというほどでもないですが。「千と千尋の神隠し」は何回も観たいと思ったし、何回も観ている。

■封切前から話題だったのですか。

-知ってはいたけど、そこまで楽しみではなかった。ハマる人はいると思う。周りはみんな観ている。

■ヒットの要因は。

-個性的なキャラと音楽。流行りに乗っかっている。
-この間までは「進撃の巨人」だったのが、「鬼滅」になって、今度は「呪術廻戦」というふうに、流れの中の一つだと思う。「鬼滅」はコロナのタイミングもあるかもしれない。「呪術」の映画はまだだけど、今は、鬼滅よりみんなよく見ている。

-多分、歌が良い。

-公開のときはみんな観ていた。「泣いた」とか言って。ただ、泣く人は何でも泣くかも。私はドラえもんでも泣いた。

-小さい子供や若い世代のあまりの盛り上がり、親の世代にまで関心が広がったような。

■印象的なところ、キーワードは何ですか。(トトロなら昭和への郷愁とか)「大正時代」「鬼退治」「妹を助ける」とは聞いたことがあるけど…。

-「鬼退治」だけど、そんな言葉で表せるような簡単なものではない。ただ、どんどん人が死んでゆく。残酷性もあるのかな。死ぬ必要のない人が死んだりとか。

-時代背景は「大正時代」だけど古臭い感じがしない。絵がきれいで。

-漫画を見たけど、どうしてもというほどではなく、みんなが観ているから観に行ってみようという感じ。

-若者には、流行にはとれあえず付いて行っておかなければいけないというものがある。話ができなくなる。ツイッターで回ってくるから。

-「コロナ」の話題でも、話題になっているなら追いついていかなければならない。時事ネタみたいなもの。

-芸能人の不倫でも、まあ、ある程度に関心はあるし、詳しく知りたかったから見ておこうという感じ。鬼滅も、実はそれほど観たいというほどではなかったが、関心があったところに友達に誘われて観に行った。

-事前にアニメの総集編があったから、それを見て

映画(つづきの無限列車編)を観ようと思った人もいると思う。またその続きが出て、積み重ねられていくような。

■関心を引く路線があったのでしょうか。あるいは、計画的に？

-たまたまではないか。日本では何が流行ってもおかしくないと思う。

-日本のカルチャーなのだと思う。

-映画の入場特典など、集客を上手くやったのも興行収入1位となった一因では。

-SNSパワー。もともと人気あったのにSNSが乗っかって流行った。SNSがなかったら千と千尋ほどのヒットではなかったのではないかなと思う。

-千と千尋は再上映されるだけでタグ付けされるほどだったから本当に凄い。映画館で観ようって。

-ジブリだからだと思う。ジブリの蓄積が強い。四十何年のファンがいるほどだから。

-確かにジブリの作品は昔を懐かしむ良さがある。

■千と千尋はやっぱりすごいということですね。では、千と千尋の大ヒット要因は。

-ハクさまが大好き。カッコいい。湯婆婆も好きだしキャラが全部好き。

-ちょっと見たら観たくなった。いかに多くの人の目にとまれるか、じゃないか。

-ストーリーが分かりやすい。鬼滅も分かりやすいけど。

-キャラクターが個性的。ビッグネームで評判があり、もうジブリなら見たくなる。(評判という点では、鬼滅はジブリほどではない。)

-誰でも見やすい。しかし鬼滅は怖かった。音が大きくて、初っ端から鬼の首が飛んで、それを幼稚園児が普通に見ているのが実は怖かった。

-ジブリ作品には、もしあの中の世界に行けたらな…というものがある。ジブリはジブリ独特の世界観があってみんなそれに惹かれていくのだと思う。

■別々の作品全体を貫く一本筋の通った哲学があるので。作り上げて積み重ねてきたものが評価されているようです。ジブリの価値を再発見しました。

(■聞き手：川邊)



ちなみに、マーケティングの専門家、鳥取環境大学
経営学部の竹内由佳先生によると…



竹内由佳先生には、12月23日(水)のリベラルアーツ講演会で、「What is Marketing?! ～こんなところにも“売る”仕組み!～」という題目でご講演いただき、その中で「鬼滅」のヒット要因の話が出たので、コメントをお願いします。

「鬼滅の刃」のヒットについてですが、実は週刊少年ジャンプの中で掲載されていた原作自体はそこまで売れているわけではなかったようです。むしろ描写や画そのものを見ても、読む人を選ぶ漫画だと思われていたようです。ところが、それをアニメ化したufortableという会社は、クオリティの高いアニメーションを作ることでも知られており、『劇場版「空の境界」』や『Fate』シリーズなどのヒット作はあるのですが、全て原作ありきのものばかりです。逆にオリジナルで制作した作品は酷評されているという面もあるそうです。そこから考えると、原作があるものをアニメ化するのがうまい会社であると考えられます。

そこから推察すると、このufortableが作った「鬼滅の刃」のアニメが、「鬼滅の刃」というコンテンツそのものをうまく売り出すために機能したと考えることが可能になります。「鬼滅の刃」そのもののイメージなどを変えことなく、視聴者に伝えることができていたため、「よし今度は漫画を読んでみよう」みたいな、視聴者から漫画の読者へのスイッチを促すことができたのかなと思っています。

ビブリオバトル鳥取県大会

ビブリオバトル鳥取県大会に参加して

電気情報工学科1年 松本 颯人

ビブリオバトルの県大会は、高専内での校内予選とは全く雰囲気違ってました。予選ではスラスラと言葉が出て、話している時でも気持ちに余裕があった。しかし県大会ともなると、観客も校内予選の2か3倍ほどおり、立っている足もかすかに震えていた。僕の前の方の発表者が、観客をまき込み、まるでライブのような発表をしていたため、よけいにプレッシャーがかかっていた。発表中は、思っているような時間配分ができず時間が余ってしまったり、言葉が続かなかったりして、自分の中で最高のパフォーマンスができず、予選の時よりも調子が出なかったように思った。結果的には、決勝に出るための最後の一枠で決選投

票になり、そこで負けてしまったが今後にもつながる課題が見つかったと思った。一つは緊張にとっても弱い所。もう一つはプレッシャーを受けやすい所。この二つの課題は、様々な所で重要な物だと思ったので大会を通じて発見できたのは、大きいことだと思った。もう一つビブリオバトルに参加してみた分かったことがある。それは、本の魅力を再発見できたことだ。他の参加者の発表を聞き、そういう本があるのか、と感じたり、その本読んでみたい、と思ったり聞いて楽しかった。今後ビブリオバトルが広がり、色々な人が本を楽しんで読んでくれるといいなと思った。



【令和2年度購入図書】

No.	書名等	著者等
1	Excelでわかる機械学習超入門：AIのモデルとアルゴリズムがわかる	涌井良幸, 涌井貞美著
2	画像認識プログラミングレシビ：今すぐ試したい！機械学習・深層学習（ディープラーニング）	川島賢著
3	ITエンジニアのための強化学習理論入門：Pythonで学ぶアルゴリズムの動作原理	中井悦司著
4	機械学習 & ディープラーニングのしくみと技術がこれ1冊でしっかりわかる教科書	山口達輝, 松田洋之著
5	ScratchでAIを学ぼう：ゲームプログラミングで強化学習を体験	伊藤真著
6	Scratchではじめる機械学習：作りながら楽しく学べるAIプログラミング	石原淳也, 倉本大資著；阿部和広監修
7	わけがわかる機械学習：現実の問題を解くために、しくみを理解する	中谷秀洋著
8	ゼロからつくるPython機械学習プログラミング入門	八谷大岳著
9	コンピュータシステムの理論と実装：モダンなコンピュータの作り方	NoamNisan, ShimonSchocken 著；斎藤康毅訳
10	ハッキング・ラボのつくりかた：仮想環境におけるハッカー体験学習	IPUSIRON 著
11	RとPythonで学ぶ実践的データサイエンス & 機械学習	有賀友紀, 大橋俊介著
12	世界で開くプログラミング力を鍛える本：コーディング面接189問とその解法	GayleLaakmannMcDowell 著；岡田佑一, 小林啓隆訳
13	人生を狂わす名著50	三宅香帆著；今日マチ子絵
14	世界を変えた本	マイケル・コリンズ神父 [ほか] 著；藤村奈緒美訳
15	古くてあたらしい仕事	島田潤一郎著
16	アレにもコレにも！モノのなまえ事典	杉村喜光文；大崎メグミ絵
17	よくわかる哲学・思想	納富信留, 檜垣立哉, 柏端達也編著
18	逆境を突破する技術：「折れない心」を科学的に習得する極意	児玉光雄著
19	「繊細さん」の本：「気がつきすぎて疲れる」が驚くほどなくなる	武田友紀著
20	10代のための疲れた心がラクになる本：「敏感すぎる」「傷つきやすい」自分を好きになる方法	長沼睦雄著
21	Change：未来を変える、これからの働き方	谷尻誠著
22	よのなかルールブック：メシが食える大人になる！	高濱正伸監修；林ユミ絵
23	はい！こちら子ども記者相談室デス！	かめおか子ども新聞著；ヨシタケシンスケイラスト
24	逃げろ生きろ生きのびろ！	たかのてるこ文と写真
25	多分そいつ、今ごろバフェとか食ってるよ。	Jam マンガ・文
26	私は私のままで生きることにした	キム・スヒョン著；吉川南訳
27	お寺の掲示板	江田智昭著
28	子どもたちに語る日中二千年史	小島毅著
29	インスタ映えする戦国時代	スエヒロ著
30	東大教授がおしえるやばい日本史	和田ラヂライラスト；横山一マンガ；滝乃みわこ執筆
31	15歳のコーヒー屋さん：発達障害のほくができることからほくにしかできないことへ	岩野馨著
32	コーヒーはほくの杖：発達障害の少年が家族と見つけた大切なもの	岩野馨, 岩野開人, 岩野久美子著
33	旅が好きだ！：21人が見つけた新たな世界への扉	河出書房新社編；角田光代 [ほか] 著
34	秘境・絶景編	集英社
35	47都道府県の歴史と地理がわかる事典	伊藤賢一著
36	ワイルドサイドをほつき歩け：ハマータウンのおっさんたち	ブレイティみかこ著
37	限界の現代史：イスラームが破壊する欺瞞の世界秩序	内藤正典著
38	父が娘に語る美しく、深く、壮大で、とんでもなくわかりやすい経済の話。	ヤニス・バルファキス著；関美和訳
39	コンビニ外国人	芹澤健介著
40	「私を怒らせる人」がいなくなる本	園田雅代著
41	移民クライシス：偽装留学生、奴隷労働の最前線	出井康博 [著]
42	なぜ僕は働くのか：君が幸せになるために考えてほしい大切なこと	池上彰監修
43	それでも家族を愛してる：自分らしい"家族"を見つけ出した19の物語	ポー・ブロンソン著；桐谷知未訳
44	「ふつう」ってなんだ？：LGBTについて知る本	薬師実芳, 中島潤監修
45	わたしが障害者じゃなくなる日：難病で動けなくてもふつうに生きられる世の中のつくりかた	海老原宏美著
46	生きる冒険地図	ブルアルハ著；細尾ちあき文と絵
47	使える脳の鍛え方：成功する学習の科学	ピーター・ブラウン, ヘンリー・ローディガー, マーク・マクダニエル著；依田卓巳訳
48	授業で使える中学校数学パズル・ゲーム大全	『数学教育』編集部編
49	高校生、とび出せ世界へ！：Multilingual Adventures：高校交換留学21カ国2,000人の体験から	遊行者
50	ムダにならない勉強法：精神科医が教える	樺沢紫苑著
51	辺境メシ：ヤバそうだから食べてみた	高野秀行著
52	ニューヨークタイムズの数学：数と式にまつわる、110の物語	ジーナ・コラータ編；小川浩一 [ほか] 訳
53	チュURINGと超（メタ）パズル：解ける問題と解けない問題	田中一之著
54	不思議宇宙のトムキンス	ジョージ・ガモフ, ラッセル・スタナード著；青木薫訳
55	名問の森物理	浜島清利著；波動2・電磁気・原子、力学・熱・波動1
56	最強に面白い!! 相対性理論	ニュートンプレス
57	量子論の基礎：その本質のやさしい理解のために	清水明著
58	弱点克服大学生の初等力学	石川裕著
59	初めから学べると評判の大学基礎物理力学キャンパス・ゼミ：高校物理から大学物理へ！スムーズに実力UP!	馬場敬之著
60	OpenFOAMによる熱移動と流れの数値解析	オープン CAE 学会編
61	熱力学入門	佐々真一著；兵頭俊夫編
62	初めから学べると評判の大学基礎物理電磁気学キャンパス・ゼミ：高校物理から大学物理へ！スムーズに実力UP!	馬場敬之著
63	アトキンス物理化学問題の解き方（学生版）（第10版 / 英語版）	東京化学同人
64	アトキンス物理化学要論問題の解き方（第6版 / 英語版）	東京化学同人
65	アトキンス物理化学（上）・（下）（第10版）	PeterAtkins, JuliedePaula 著；中野元裕 [ほか] 訳
66	アトキンス基礎物理化学：分子論的アプローチ（上）・（下）（第2版）	PAtkins, dePaula, RFriedman [著]；千原秀昭, 稲葉章訳
67	マクマリー有機化学概説問題の解き方（第7版）英語版	東京化学同人
68	宇宙	[佐藤勝彦監修]
69	ブラックホールってすごいやつ：国立天文台教授が教える	本間希樹著；吉田戦車イラスト
70	最強に面白い!! 地球46億年	ニュートンプレス
71	総集編 = Compilation	日本建築学会編
72	恐竜まみれ：発掘現場は今日も命がけ	小林快次著
73	チャンスは準備された心におまかせ	福岡伸一著
74	ざんねんないきもの事典：おもしろい！進化のふしぎ	下間文恵, 徳永明子, かむむらふゆみ絵
75	生き物の死にぞま	稲垣栄洋著
76	ネコもよう図鑑：色や柄がちがうのはニャンで？	浅羽宏著
77	Pythonによる医療データ分析入門	青木智広著；pandas+ 疑似レセプト編
78	私は、看取り士。：わがままな最期を支えます	柴田久美子著
79	バイオマテリアル：材料と生体の相互作用	田中順三, 角田方衛, 立石哲也編
80	医用電子工学	松尾正之 [ほか] 共著

■専攻科長 藤 井 雄 三

修了生へ 専攻科修了、おめでとうございます。

2年間は短かったでしょうか、本科と合わせて7年間を感じて長かったでしょうか。楽しさや苦しさ、得たもの、失ったもの、いろんなことがあり、いろんな経験したことでしょう。これからも皆さんには色々なことが待ち受けています。それらすべての経験が皆さんを形成してくれています。生物の性質は遺伝によるところも大きいですが、性格などに関しては環境的要因が大きく影響します。つまり、経験がみなさんを育ててくれています。嫌なことも悲しいことも含めてみなさんを作ってくれます。人との関わりや勉強、本、ゲームなど、あらゆるものが皆さんの糧となります。いろんなことを体験した人は、これからの人生のあらゆることに対して対応できます。

就職する人、進学する人、進路はさまざまですが、どんな道に進もうとも経験がみなさんを助けてくれます。楽しんで進んでください。



建築学専攻2年 永 田 孝 一

本科の時は常に課題に追われていて休む暇がなかった印象でしたが、専攻科での2年間はたくさん時間をかけて建築コンペや資格取得など、色々な事に取り組めたので進学して良かったと心から思っています。7年間の高専生活を通して、同好会活動や建築コンペ、山登りなど、授業や課題以外で自主的に取り組んできた事柄から多くを学ばせてもらいました。社会に出た後もこの教訓を忘れず、様々なことに挑戦していきたいと思います。7年間お世話になりました。

物質工学専攻2年 前 田 結希乃

高専に入学して、一生の友人と出会うことができました。

また、予想していなかった試練を乗り越えるための知識や知恵を得ることができ、生きていく上で大切なことを学ぶことができました。今までお世話になった先生方や友人に感謝を伝えると共に、高専での思い出や経験を大切に、学んだことを活かしてこれからも社会人として努力していきます。7年間、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

生産システム工学専攻2年 森 田 大 輝

7年通った米子高専とも、ついに別れの時が来ました。7年とは長いもので、様々な思い出が鮮明に甦り…はしませんが、過去のレポートたちをHDDから発掘して見返すと、専攻科での成長を実感します。また、今年度はコロナ禍でリモート授業になるなど、未曾有の事態が続きました。そんな中でも我々の学習を支えてくれた先生方には深く感謝しています。そして、共に旅立つ仲間の活躍を楽しみに、自身もより一層研鑽を積んでまいります。



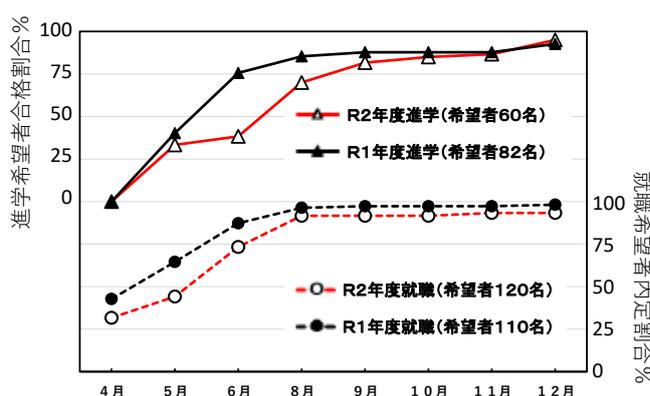
令和2年度進路状況について

◆ 本 科

5年学年主任 機械工学科 教授 矢 壁 正 樹

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発出により、新年度授業開始は延期され、さらに、GW後の新年度授業開始時はオンライン授業であった為、進路指導についてもインターネット回線を用いたオンライン指導も取り入れ、学生の就職活動、編入学試験準備が円滑に進むよう工夫を凝らしながら進路指導を行ってきました。同時に、企業の採用試験および大学編入学試験の日程延期と試験方法の変更なども重なり、今年度の就職内定者、編入学合格者人数の推移は例年に比べて緩やかでした。図は就職・進学希望者の進路決定割合（5学科合計%）の月ごとの推移を昨年のR1年度と比較したものです。

図中の破線で示す就職希望者内定割合を見ますと、6月末までは昨年度より10～20%程度低い割合で推移しており、12月には、ほぼ100%に近づいています。次に、図中の実線で示す進学希望者合格割合を見ますと、5月は本校専攻科推薦選抜試験合格者のみで、昨年とほぼ変わりありませんが、6月以降は、大学編入学選抜試験が2～3ヶ月間延期された影響により、合格者割合は低くなっています。しかしながら、幸いにも第一希望の大学に合格する割合が例年より高く、12月には例年とほぼ同等となりました。本原稿執筆時点（1月末）では就職希望、進学希望ともに若干名決まっていなかった学生がいますが、例年のとおり、年度内にはそれぞれ100%決まる様に進路指導を継続して行っています。



就職・進学 進路決定者割合の月ごとの推移

求人企業数については5学科合計で約3100社からの求人が県内外からあり、R1年度から微増となりました。就職希望学生1名あたり平均26社もの高い求人倍率があり、技術者（のたまご）への採用意欲はコロナ禍中でも衰えなかった事を示しています。ただし、特定の企業においては採用試験が見送りとなった為、他企業を検討したり進学に切り替えたり急遽対応しなければならない学生があったことは大変に残念でした。

◆ 専攻科

専攻科長 藤井 雄三

本年度の専攻科修了生に対する求人は、本科と同様、好調に推移しています。生産システム工学専攻では就職希望者に対して154倍、物質工学専攻では60倍、建築学専攻では73倍の求人がありました。専攻科生の進路指導は、各学科の就職担当教員と特別研究指導教員が連携して対応しています。このため、就職希望者のほとんどが内定を得ることができています。一方、大学院への進学は生産システム工学専攻で2名、建築学専攻で1名と、昨年度と同程度となっています。大学院修了者は、開発・研究だけでなく、現場の技術者としても活躍しています。工学技術がますます高度化していく中、将来、開発・研究の分野に進むためには必須であり、現場で活躍する上でも大学院への進学を視野に入れた進路も検討が必要です。

専攻科の就職活動は本科同様に新型コロナの影響が少ない段階での活動のため、今年度の就職状況は安定していました。今後、どの程度影響するかは計り知れません。専攻科は2年間ですが、就職活動は1年後に始まります。進路については早め早めの対応を心がけてください。将来の目標を見据えて、早い段階から進路に関する情報収集を行うことが重要です。

本科の求人・進路状況 (R3.1.31 現在)

学 科	卒業予定者数	就職希望者数	就職内定者数	本年度求人件数	進学希望者数	大学進学 決定者数	本校専攻科 進学決定者数	その他学校等 進学決定者数
M	35	26	25	770	9	4	5	0
E	37	21	19	785	15	8	6	0
D	32	25	24	780	7	4	3	0
C	39	22	19	380	16	11	4	1
A	41	27	27	384	11	6	4	0
合計	184	121	114	3099	58	33	22	1

専攻科の求人・進路状況 (R3.1.31 現在)

専 攻	卒業予定者数	就職希望者数	就職内定者数	本年度求人件数	進学希望者数	進学決定者数
生産システム工学	17	14	13	2161	3	2
物質工学	6	6	5	361	0	0
建築学	6	5	5	366	1	1
合 計	29	25	23	2888	4	3

令和2年度資格試験合格者 (R3.2.24 現在)

資 格 名	取 得 者						
TOEIC(900～990)	4C インタン						
TOEIC(800～899)	3A 原 麗斗	4M ワルダ	5A 杉岡 広志郎				
TOEIC(700～799)	5E 平木 志虎	4D 森 正晴					
TOEIC(600～699)	3E 森田 孝太郎	4M 岡垣 航	4A 仙田 璃温	5M 浦木 紀洋	4A 山本 翔太		
TOEIC(500～599)	2D 加藤 崇	2D 谷尾 祥鈴	3E 山本 善博	4M 金田 太樹	4E 富田 亮雅	4E オチキー	
	4C 那和 洸星	4E 小西 伶旺	4E 安達 諒	4C 林原 栞奈	4C 梅津 承世		
TOEIC(400～499)	3D 篠村 武生	3C 大田 芽生	3A 西川 和樹	4M 卜部 力翔	4M 林 凌生	4M 平野 航次郎	
	4E 加藤 誠	4E 長谷川 龍都	4E 福井 康介	4D 佐々木 颯太	4D 村上 知哉	4D 山田 優生	
	4A 田中 歩	4A 井川 愛					
TOEIC Bridge(63～)	1D 吉田 倅野	1A 谷野 彼方	1A 濱崎 大志	1A 三好 雪心	2M 今川 滯	2M 藤本 竜也	
	2M 松尾 空知	2E 小川 直純	2E 亀尾 茉央	2E 下村 圭史	2E 藤林 来輝	2E 松村 有紀	
	2E 都田 陸陽	2E 山田 魁真	2E 渡邊 天翔	2D 大野 陽斗	2D 加藤 涼那	2D 加藤 佑	
	2D 高野 光之佑	2D 近藤 由基	2D 雑賀 妃菜	2D 瀧山 舜貴	2D 谷尾 祥鈴	2D 西岡 千愛	
	2D 福田 怜央	2D 松本 和真	2D 武良 宗一郎	2C 石倉 結斗	2C 石田 心春	2C 小野川 絹真	
	2C 加藤 巧	2C 鎌田 結衣	2C 小林 絢音	2C 野坂 彩乃	2C 八田 友維	2C 細田 めい子	
	2A 佐々木 律	2A 宮本 滯	2A 森島 望和	2A 岸田 空大	3D 石原 あみ	3C 山瀬 優日	
	3C 吉田 花梨						
TOEFL (57～)	5C 橋本 真弦						
実用英語検定 2級	1E 大河 春輝	3C 山瀬 優日					
実用英語検定 準 2級	2M 生田 尋	2D 塚原 空大	3D 伊藤 陸人				
技術英語検定 3級	1D 内田 翔太	1D 川上 鉄馬	1D 百田 輝文	1D 三井 朱寧	1D 三宅 智仁	2M 野島 瑞基	
	2M 高倉 幸大	2E 岩田 敦都	2E 勝部 青空	2E 小谷 茉央	2E 下村 圭史	2E 山本 虎次郎	
	2E 和田 滯耶	2E 山田 魁真	2E 足立 雪真	2D 瀧山 舜貴	2D 保田 航明	2C 大山 優輝	
	2C 加藤 巧	2C 小林 絢音	2C 高橋 凜	2C 竹田 華音	2C 西口 杏梨	2C 野坂 彩乃	
	2C 細田 めい子	1D 山崎 朝陽					
実用数学技能検定 2級	2D 加藤 崇	2D 安田 倫	2E 和田 滯耶				
実用数学技能検定 準 2級	1M 中本 大翔	1D 三宅 智仁	1D 矢田貝 元気	2C 西田 蓮	2C 野坂 彩乃	2E 亀尾 茉央	
	2E 山田 魁真						
危険物取扱者乙種	2C 大山 優輝	2C 西口 杏梨	3C 石井 まとい	3C 出原 唯衣	3C 清水 美祐	3C 福田 菖太	
	3C 近池 亮太						
I Tパスポート	4E 門脇 真子						
宅建	3A 原 麗斗						

「米子高専生のための進路研究セミナー」開催報告

キャリア支援室長 前原 勝樹

米子高専では、令和3年1月23日（土）にオンライン形式により「米子高専生のための進路研究セミナー」を開催しました。令和2年度の求人倍率は本科で26倍、専攻科で100倍越えという企業の変わず高い求人意欲を受けて、単独高専の開催としては全国最大級となる、企業約200社（特設Webサイト掲載約200社、そのうちLIVE配信説明約170社）、大学12学部及び大学院8研究科での実施となり、本校の本科3・4年生、専攻科1年生及び保護者の約400名と本科1・2年生の希望者らが、自宅や学校から参加しました。

例年、学外の会場にて、200ブースを超える参加企業・大学・大学院の紹介を対面により受ける場として実施しており、今年度も例年通り対面式で行う準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらない状況にあることから、オンラインによる開催に実施方法を変更して行いました。

参加企業については、大都市圏の企業だけでなく、地方創生事業の一環として、学生の地元定着を図るべく、米子高専を支援する地元企業等の団体である「米子高専振興協会」へも呼び掛けを行い、66社に参加いただきました。また、（公財）ふるさと鳥取県定住機構にも共催していただき、鳥取県内出展企業として54社が参加されました。

参加した学生達は、オンラインでの開催に不慣れな面もありましたが、「たくさんの企業の情報を得ることができた」「TV会議だったので、かえって質問がしやすかった」「事前に質問を考えることができた」「説明資料を後から見ることができた」などの感想が寄せられました。学校から参加した学生も就職やインターン

シップに役立つ情報を得ようと意欲的に特設Webサイトを閲覧し、熱心に各企業や大学のLIVE配信による説明を受けていました。

この「米子高専生のための進路研究セミナー」は、学生へのキャリア教育に大切な役割を果たすものであり、今後も継続して開催して参ります。



メディアラボ



教室

大学編入説明会を開催しました

5C 橋本 真弦

昨年末、今年度大学編入試験を体験した5年生の有志で「大学編入説明会」を行いました。4年生以下の大学編入に興味を持っている学生に対して大学選びについて、勉強法についてなど、5年生が大学編入試験を通して体験したことを後輩に伝えました。昨年度、当時4年生だった僕は5年生が有志で開催した大学編入説明会に参加し、直接体験談を聞くことでとても勉強になり、大学編入試験に対するモチベーションが上がりました。そこで、今年度も大学編入を志す学生の励みになればいいなと思い、大学編入説明会を企画しました。

今回の大学編入説明会に参加した5年生には経済学部編入した学生がいました。高専での5年間は非常に長いため、自分の将来を考える時間がたくさんあります。そこで本当に自分が将来やりたいことを見つけ、進路を選ぶことが大切です。それが今まで自分が勉強してきた専門分野とは違う分野だったとしても進んでいくことができるのが大学編入のすばらしさだと思います。

大学編入試験は情報を集めることが難しいです。過去問や参考書などの情報が少ないため、自分で進んで調べていく姿勢が大切です。この大学編入説明会が後輩たちの励みになり、進路を決める参考になればいいなと思います。



編入説明会に参加した学生たち



編入説明会の講師を務める5年生

令和2年度学生表彰

—優秀賞（在学中顕著な成績を修め、優秀な賞を複数回受賞した者）—

学業優秀

5 M 佐波呼治朗（日本機械学会島山賞）	5 E 坂本 悠真（電気・情報関連学会中国支部賞）
5 D 陶山 一字（電気・情報関連学会中国支部賞）	5 C 橋本 真弦（日本化学会中国四国支部支部長賞）
5 A 八塚 玲奈（日本建築学会中国支部優秀卒業生）	S 2 前田結希乃（日本化学会中国四国支部支部長賞）
S 2 和田虎之慎（空気調和・衛生工学会学生賞）	

卓球部 第53回全国高等専門学校体育大会 卓球競技 男子団体戦 準優勝 ほか

5 D 高野 陽平

ヨット部 2018年オーストラリア・ユース・チャンピオンシップ 出場 ほか

5 A 増田 美悠

テニス部 第53回全国高等専門学校体育大会 テニス競技 女子ダブルス 準優勝 ほか

5 C 原 望実

空手道部 平成29・30年度全国高校総合体育大会 空手道競技 出場 ほか

5 C 近田 繭子

放送部 第64回NHK杯全国高校放送コンテスト 創作テレビドラマ部門 第3位 ほか

5 E 島崎 寛己 5 D 植木 佑哉 5 C 平井 壘 5 A 齋藤 真珠

平成30年度全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会 出場 ほか

5 C 島田 青蓮

Intel ISEF 2019 Grand Award Celemony 材料科学部門優秀賞3等 ほか

5 C 田中 泰斗

—米子商工会議所会頭賞—

5 M 平野 太一 5 E 石田 晟介 5 D 細田 一成 5 C 原 望実 5 A 朝久 千宙

S 2 森田 大輝 S 2 松岡 祐汰 S 2 永田 孝一

※紙面の都合上、大会名・種目名、成績については代表的なものみの記載としました。

令和2年度体育協会表彰

【米子市体育協会】

4 E 柳原 武司（卓球部） スポーツ奨励賞（個人）

【湯梨浜町体育協会】

2 C 津村 紘華（空手道部） 成績優秀賞

輝けミライの私!山陰ガールズプロジェクト2019からの報告

物質工学科 榎 間 由 幸

米子高専では、島根大学、松江高専を共同機関として、「輝けミライの私!山陰ガールズプロジェクト2019」(科学技術振興機構採択課題名)と題して山陰全域で女子中高生を対象に理系の魅力を伝える活動をしている。主要先進国における女性科学技術者の割合は、アメリカ34.3%、イタリア36.0%、ドイツ27.9%そして隣国韓国は18.9%と高く日本は15.7%と諸外国に比べて著しく低い状況にある。また女子生徒が理系を選択しない大きな理由として、進路選択後の出口が見えにくいことが理由と考え、理系の世界で活躍している女性研究者・技術者による講演会・交流会を計画し多くのモデルケースを知る機会の提供を心がけた。具体的な内容としては、先輩理系女子による中学校講演会、科学談話会(米子東高等学校)、初歩的な内容の実験体験講座と高度な実験内容のチャレンジラボの実施、著名な女性研究者・技術者との交流の場であるリケジョ合宿を2年に亘り実施した。女性技術者が勤務する職場訪問(松江市立病院、松江赤十字病院、鳥取県食品開発研究所)などを開催した。これらの運営企画に関わるリケジョ支援学生40名以上が精力的に活動してくれており、本取組が評価され2019年には公益財団法人日産財団より第3回リケジョ賞 奨励賞をいただいた。



支援学生

第48回全国高校選抜卓球大会シングルス男女アベック出場決定

卓球部顧問 電子制御工学科 河野 清 尊

令和2年11月7日(土)・8日(日)に米子市民体育館において開催された令和2年度第57回鳥取県高校卓球新人戦大会において、2M石田怜央と1C土江亜依美が全国高校選抜卓球大会のシングルス(2部)への出場権を獲得しました。石田は昨年度も出場権を獲得しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で昨年3月の千葉県での全国大会が中止になり出場できませんでした。特例で今年度も予選への出場資格を得ることができ、2年連続で代表権を勝ち取りました。土江は、本校の女子としては初めての出場となります。

全国大会は3月25日(木)~28日(日)に津市産業・スポーツセンター(サオリーナ)で開催されます。今年こそは開催されることを信じて、良い結果をお知らせできるよう頑張ってきたと思います。



新人戦優勝(ヨット部)

ヨット部顧問 教養教育科 青砥 正彦

高校ヨット新人戦が11月7~8日、境港公共マリーナ沖で実施されました。ヨットはマイナーなイメージですが、境港はよい風が吹くので、世界大会が開催され、オリンピック強化で世界から練習にやってくる、ヨット界では有名なところですよ。

当日は風が強く、風向も刻々と変化し、選手にとっては難しいコンディションでした。ヨットを操る技術だけでなく、風向を読み、他艇との駆け引きをし、コース取りをいかにするかが勝負に大きく影響を与える、見ごたえのあるレースでした。全3レースの結果、本校1年電子制御工学科の山崎朝陽くんが優勝しました。写真は風下マークを回航し、風上に方向転換している場面です。



第25回西日本地区高専駅伝競走大会で区間賞と特別表彰のW受賞

陸上競技部顧問 教養教育科 南 雅樹

12月26日(土)山口県の山口きらら博記念公園特設コースで「第25回西日本地区高専駅伝競走大会(7区間:42.195km)」が開催され、5D亀井阿久亜君が第2区3kmの区間賞を獲得しました。また、3年連続の区間賞獲得により特別表彰者の栄誉を受けました。亀井君は昨年度の全国高専(陸上競技)男子1500mで第4位に入賞し、今年度開催されるはずだった全国高専では表彰台の最も高い所に立つことを目指し頑張ってきました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大から中国地区高専、全国高専が中止となり、最終学年で出場する最初で最後の大会がこの駅伝でした。直前まで大会開催が危ぶまれる中で、卒業研究にも取り組みながら自主トレに励む厳しい状況でしたが、「区間賞と特別表彰のW受賞」という素晴らしい有終の美を飾ってくれました。



1区永田君(専攻科1年)から襷を受ける2区亀井君

【放送部】高校生のためのDeiga worldcup最優秀作品賞受賞!

自由部門:最優秀作品賞・最優秀撮影賞・最優秀編集賞・山川直人賞 地域部門:日本ケーブルテレビ連盟賞
放送部部长・3E 山本善博

今年度は遠隔での制作スタート、かつ、私がこの大会に参加できる最後の年ということもあり、不安いっぱいでした。しかし、企画から完成まで、熱心な1年生達や3年生と一緒に頑張ってくれたおかげで無事作品が完成し、3年ぶりに最優秀作品賞を戴くことができました。今年度はドローンを用いたり、外部の施設で撮影を行ったりと去年できなかったことに色々チャレンジしてみて、自分達の作りたいものを作ることができたと思います。3年生はこの大会では引退なので、来年度は後輩たちに技術を教えるなどサポートして行けたら良いなと思います。



植田正治写真美術館前での撮影風景

国際学会SmaSys 2020にて優秀ポスター賞受賞

5C 遠藤聖也

この度「Development of lanthanide nanoparticle included near-infrared compatible photosensitizer (光増感剤含有ランタニドナノ粒子の開発)」という題目でSmaSys 2020にて発表させていただき、「SmaSys Best Poster Presentation」を受賞させていただきました。正直なところ、まさか自分が受賞者に選ばれるとは思ってもみませんでした。非常に驚くと同時にご期待に添えるよう頑張ろうと、改めて気持ちを引き締めています。

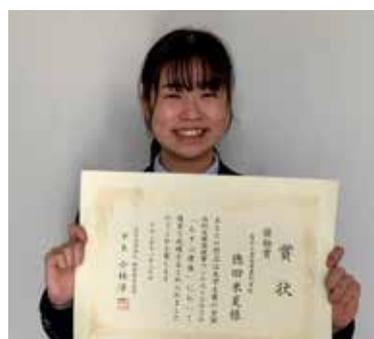
今回のポスターセッションは全て英語で行われました。そこで大学生や大学院生との英語力の差を目の当たりにしました。これを機に、外国語主に英語の学習により一層力を入れていきたいと感じました。



全国高校生建築提案コンテスト2020奨励賞受賞

建築学科 西川賢治

このコンテストは高校生が自由な発想で描く“未来の建築像”について提案を募るもので、今年度のテーマは「むすぶ建築」というものでした。全国32都道府県の高校・高専から147点の応募があり、2Aの徳田来夏さんが奨励賞を受賞しました。上位の入賞者が上級生、あるいは複数メンバーによるチーム応募の中、2年生の単独応募での受賞は称賛に値します。「原っぱ」というタイトルで制作した作品は、「設計コンセプトを忠実に空間表現に反映させることができている非常に完成度の高い作品」と評価されました。



全国高校生建築提案コンテスト2020奨励賞受賞

環境省の水・土壌環境保全活動功労者表彰を受賞しました

物質工学科 藤井貴敏

令和2年12月23日、環境省「水・土壌環境保全活動功労者表彰」を、本校物質工学科及び物質工学専攻の学生が中心となって活動する市民団体「湖底こううん隊」が受賞しました。湖底こううん隊は米子市湊山公園内の池の浄化を目的に結成され、平成26年から浄化活動を実施してきました。具体的には、池の底に堆積した有機質泥(いわゆるヘドロ)をかき混ぜる「耕耘」を毎月、「人力で」行うことによって酸素をヘドロに供給して解消を目指すというものです。

本活動は延べ1000人以上の学生、地域住民の協力のもと実施してきました。参加して下さったすべての方に感謝します。



授賞式の様子

留学生交流会(歓迎会・送別会)

国際交流支援室長 青砥正彦

1月25日、留学生交流会が、歓迎会と送別会を併せて、会食なしで行われました。卒業を迎える留学生の門出を祝い、多くのチューター、指導教員にも集まっておられました。機械工学科のチャンさん、建築学科のポー君はそれぞれ大学に進学することになっています。米子高専での経験を活かし、新天地での活躍を期待します。

今年度は新たに4名の留学生を迎えましたが、入国制限により、全員が揃ったのは11月でした。それぞれの夢に向かい、米子高専と一緒に学んでいきましょう。そして米子高専の学生との交流を深め、楽しく過ごしていきましょう。





大岩 正和

2011年3月 本科 物質工学科 卒業

2013年3月 専攻科 物質工学専攻 修了

同年4月 東燃ゼネラル石油株式会社（現 ENEOS 株式会社）入社

Q. 現在どのような仕事をしているか

- A. 私は現在、大阪府堺市に位置している ENEOS 株式会社堺製油所で、石油精製装置のうち特にポンプや圧縮機、モーターなどの回転機器周りについて、点検、補修計画の立案、施工管理業務（機器の保全業務）をしています。古い装置ですと操業開始からすでに 50 年以上が経過し、言わば「ご老体に鞭を打つ」ように運転している機器が多いため、教科書通りにはならないような不具合と日々格闘しながら仕事をしています。



ENEOS 堺製油所（パンフレットより）

Q. なぜ、現在の会社に就職したのか？仕事のやりがいや楽しさなど

- A. 専攻科 1 年次のインターンシップで実際に職場の雰囲気（当時は東燃ゼネラル石油時代）を体感したことがきっかけです。

保全部門に配属された当初は、「機械の知識はほとんどないけどいけるかな」と不安に思っていたのですが、協力会社の方を含む先輩方、会社内外での教育、講習などを通じて知識を得たり、現場の経験を重ねるうちに楽しさを感じるようになりました。「機器を動かしてナンボ」な業界の中心を担う回転機器を相手に保全作業をするため、責任は大きいですが、自分で点検を行った機器について補修計画を立案し、協力会社の方々と一丸となって補修後、無事に運転再開できた時には、やりがいと喜びを感じます。



性能が低下したポンプ開放時の写真

石油精製工場といえば夜景を思い浮かべるかと思いますが、保全業務をしている関係上、夜景を見るときは大概トラブル対応をしている時になることが多いため、個人的には工場夜景が少し苦手になりました。

Q. 気分転換の方法など

- A. コロナ禍のため遠征することが少なくなりましたが、全国各地で開催されるライブ（アニメソング中心）に行ったり、カメラを持って旅行をしたり、パソコンをいじったり、ビスマスを融かしてみたり、フォントを買ってみたり、缶バッジ作ってみたり…などすべて列挙はできませんが、趣味を増やしつつ、気分転換をしています。

Q. 学生のみなさんへ

- A. 私自身、現在の業務は機械工学寄りのため、学生時代の勉強がすべて直接活かしていると言うわけには行きませんが、分析結果の見方やデータなど、所々「あ、高専でやったことある!」といった場面があったりします。高専での勉強や活動で考え方や知識のベースをみなさんも作れているはずですので、新たなことでもスムーズに理解ができるのではないかなと思います。

学生時代は長いようで意外と短いです。貴重な時間の中で勉強、遊びにメリハリをつけながら学生生活を送ってください。



趣味で作ったビスマスの結晶

※記事において、学科等の名称をアルファベットで表記している箇所があります。

M…機械工学科、E…電気情報工学科、D…電子制御工学科、C…物質工学科、A…建築学科、G…教養教育科、S…専攻科
例えば、「1M」は機械工学科 1 年生を表しています。

発行：米子高専広報室 〒 683-8502 鳥取県米子市彦名町 4448 TEL: 0859-24-5000 FAX: 0859-24-5009
ホームページ：https://www.yonago-k.ac.jp/ 印刷：東京印刷株式会社